

① 修了要件

日本語教育人材育成プログラムを修了するためには、次の【Ⅰ】と【Ⅱ】の要件をすべて満たす必要があります。

【Ⅰ】 コア科目の10科目（20単位）をすべて修得すること。

【コア科目一覧】

<日本語研究領域>

科目名	単位数	配当学年	科目名	単位数	配当学年
日本語教育学（文法）A/B	各2	1・2	日本語教育学（語彙）A/B	各2	1・2
日本語教育学（音声）A/B	各2	1・2	日本語学A/B	各2	1・2
外国語としての日本語教授法	2	2～4	日本語教育実践科目	2	2～4

※1：「外国語としての日本語教授法」は、「日本語教育学（文法）」「日本語教育学（語彙）」「日本語教育学（音声）」のうち、最低2科目についてAまたはBの単位を修得済みであることを受講条件とします。

※2：「日本語教育実践科目」は、以下の2つの条件をすべて満たしていることを受講条件とします。

ア)「日本語教育学（文法）」「日本語教育学（語彙）」「日本語教育学（音声）」の3科目すべてについて、AまたはBのいずれかの単位を修得済みである。

イ)「外国語としての日本語教授法」の単位を修得済みである。

【Ⅱ】 関連科目から8科目（16単位）以上修得すること。

【関連科目一覧】

<ポップカルチャー研究領域>

科目名	単位数	配当学年	科目名	単位数	配当学年
漫画文化論A/B	各2	1・2	アニメーション文化論A/B	各2	1・2
日本先端文化論A/B	各2	1・2			

<国際関係・文化交流研究領域>

科目名	単位数	配当学年	科目名	単位数	配当学年
平和学	2	1・2	多文化共生論	2	1・2
異文化間教育学A/B	各2	1・2	国際教育交流論A/B	各2	1・2
移民政策論	2	3・4			

<日本文化・思想研究領域>

科目名	単位数	配当学年	科目名	単位数	配当学年
近代日本の文芸A/B	各2	1・2	日本の哲学A/B	各2	2～4
日本の文化伝統A/B	各2	3・4	日本の宗教A/B	各2	3・4

<日本語研究領域>

科目名	単位数	配当学年
日本語の歴史A/B	各2	2～4

<英語研究領域>

科目名	単位数	配当 学年	科目名	単位数	配当 学年
言語と文化A/B	各2	1・2	心理と言語A/B	各2	1・2
応用言語学A/B	各2	1・2	英語学A/B	各2	3・4

<資格課程科目>※教職課程履修者のみ履修可

科目名	単位数	配当 学年	科目名	単位数	配当 学年
英語科教育法Ⅰ/Ⅱ	各2	3	授業デザイン論（英語）A/B	各2	2

② 履修登録について

通常の履修登録の手続に従って手続きをしてください。当プログラムを履修するための特別な手続きや費用は不要です。

③ プログラム履修開始年次

プログラムの履修を始める年次に制限はありません。各科目の配当年次と履修条件に従ってください。

④ プログラム修了証について

プログラム修了者には、学位記交付時に当プログラム修了証を交付します。

⑤ その他

当プログラムは、日本語教育副専攻相当の内容ですが、当プログラムの修了は、日本語教員として就職できることを確約するものではありません。勤務する国、教育機関、勤務形態などによって、求められる能力・資格・経験はさまざまなので、日本語教員として働くことを希望する人は、各自、求人情報・採用条件を確認してください。

なお、国家試験ではありませんが、広く認知されている試験として、日本国際教育支援協会が実施し、日本語教育学会が認定している日本語教育能力検定試験があります（参照：日本国際教育支援協会 <http://www.jees.or.jp/jltct/>）。

以上